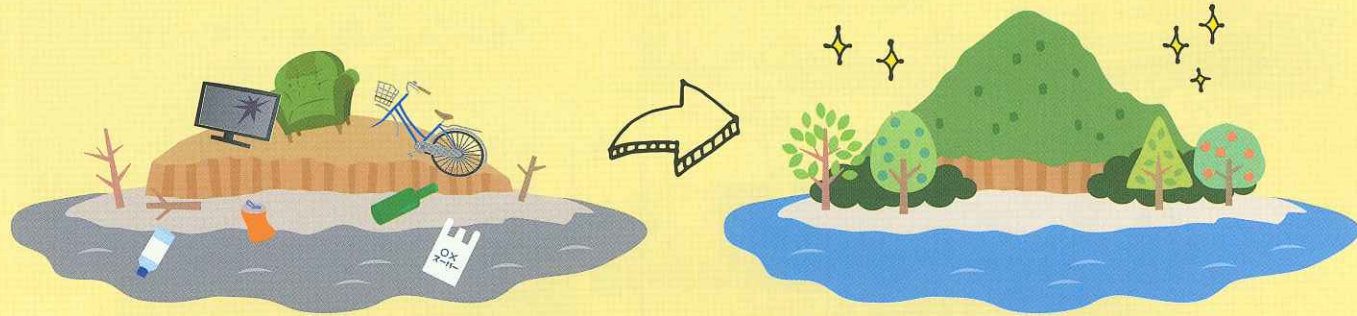


"みんなの島"の未来のために

『ごみを減らそう!!』

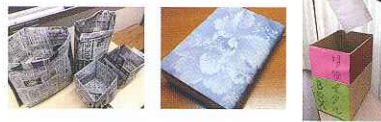


今回、ハッと思ったのは「捨てたもの=“ごみ”」ではなく、見る視点によって価値が無い“ごみ”なのか、リサイクルして活かせる価値のある“資源”なのか、というお話でした。自分が捨てたものがどうなるのか?島の環境に影響を及ぼしていないか、というその先を想像することがとても大事で、「関心」を持ち行動に移せる人が増えると、もっと美しい島になると思います。小さなことかもしれませんが、私たちに出来る取り組みを考えてみました。私たちも行動していきますので、みなさんにとっても「身近で重要な問題」を考えるきっかけになればとても嬉しいです。

私たちにできること

1 学校でできること

●いらなくなった紙を再利用する!(リサイクル)
例)封筒にする・ゴミ箱として利用する(新聞紙など)・可愛い包装紙などはブックカバーとして使う・白い余白の部分はメモ用紙として切り取っておく



●不要な紙を資源ゴミとして集める!(リサイクル)
学校は紙が多いので、学校や家庭の紙を集めるボックスがあれば、多くのリサイクルに回せると思います!

今回は、学校だけでは学べない、身近な問題を体験でき、学生にとってとても良い経験になったと思います。学校としても何ができるのか、考えるきっかけになりました。

くもん先生

2 家でできること

- 資源になるごみを知る!&紙は資源ごみに(リサイクル)
- 食べ残しを減らす(リデュース、フードロス)
- 不用品は知人に譲ったり、フリマアプリを活用する(リユース)
- 生ゴミは水を切って捨てる(ごみ焼却時間短縮=CO2削減)
- “使い捨て”→“長く使えるもの”を選択(リデュース)

長く使えるものの例

洗剤などのボトル 詰め替え シリコンラップ マイバッグ など



まずは、自分がごみを出すことが多い“家”から取り組めることがたくさんあるので、「これ再利用・再資源化できるかな?」という視点を常に持ちたいと思います。



はねみおほ

3 外出先でできること

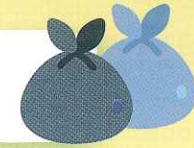
- マイバッグを持参する(リフューズ)
- マイ箸、マイボトルを持参する(リデュース)
- 買い物するときは本当に今必要なものかどうか考える(リデュース)
- 飲食店では食べられる量を考えて注文する(リデュース、フードロス)



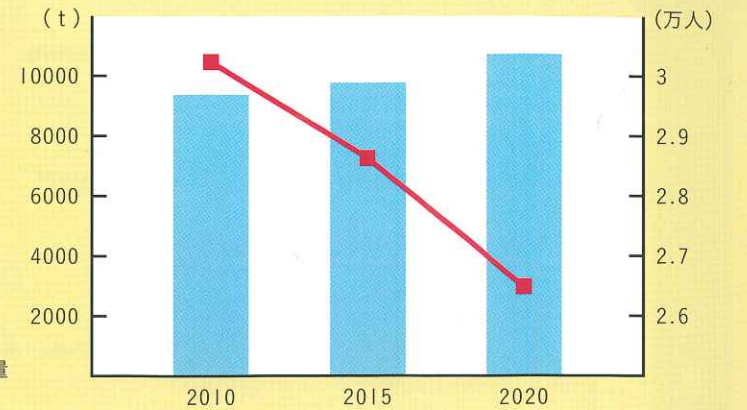
買った物の95%以上が、10年後はごみになるそうです。捨てることも想像して、必要で大切にできるものかを考えて買いたいと思います。

調査②

小豆郡のごみの現状



小豆郡の人口推移と可燃ごみの総量



島の人口は10年で約5,000人減っているのにごみの量はだんだんと増えている!!



壽 桃花

人口推移
ごみの総量

小豆島と同じぐらいの離島と比較すると... (2020年度比較)

小豆郡
(小豆島町・土庄町)

1人あたり

770
(グラム/日)

(差分270g)

種子島
(西之表市・中種子町)

1人あたり

500
(グラム/日)

一人ひとりのごみに対する意識が大切になってくるんだね!

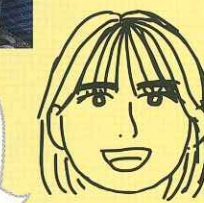


森口 怜愛

1年で約100kgの差が出る!!



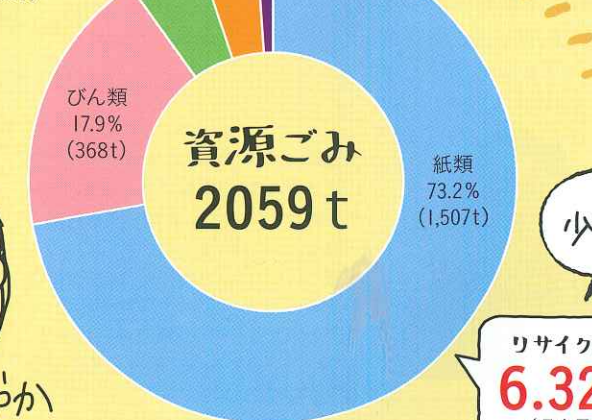
再利用できる資源がたくさんあるんだから、みんなで分別を頑張ってリサイクル率を上げたい!



たかおあやか

資源ごみの内わけ (2020年度)

缶類 3.7%(77t)
ペットボトル 4.5%(93t)
発泡トレイ等 0.7%(14t)



少なっ!!

リサイクル率
6.32%
(県内最低)